

令和2年度重要課題評価取りまとめ結果

[ひきこもり支援施策の構築と推進：保健福祉部]

	5段階評価	コメント
<p>対応方針に対する令和2年度の進め方が適切だったか。</p> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりネットワーク協議会の設置や運営は適切になされたか（構成団体、会議の開催、協議内容等） ・ひきこもり支援施策の具体案まとめから主要事業決定までの検討は、協議会からの意見聴取も含め、適切に進められたか 	<p>5 :</p> <p>4 : 5人</p> <p>3 : 3人</p> <p>2 :</p> <p>1 :</p>	<p>ひきこもりネットワーク協議会を立ち上げたことは評価できる。構成団体と協力した会議開催・事業運営も概ね適切に実施されているが、機能を最大限活かすためにも、市と民間団体でひきこもりに対する認識の方向性のある程度合わせておく必要があるのではないか。</p>
<p>令和2年度の成果は充分か</p> <p>[評価のポイント]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりネットワーク協議会の連携・情報共有、進めるべき支援施策について、目指す方向性は明確になったか ・R3年度以降の具体的なひきこもり支援施策の検討は充分か 	<p>5 :</p> <p>4 : 4人</p> <p>3.5 : 1人</p> <p>3 : 3人</p> <p>2 :</p> <p>1 :</p>	<p>計画した施策はその通り推進・実施されており概ね評価できる。関係機関の役割が十分に明確化されていない部分もあり、さらなる課題共有や情報交換に取り組む必要がある。</p>
<p>今後の課題の認識は適切か</p> <p>[評価のポイント]</p> <p>（ひきこもりネットワークの構築）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連携強化」「専門性向上」「支援施策の評価・検討」などを検証するためアドバイザーを必要とするのはどのような理由からか ・不登校児童生徒の卒業後の支援スキームの検討が必要なのはどのような理由からか <p>（ひきこもり支援施策の具体化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果を捉えるに当たり、それを数値化する意義はなにか 	<p>5 :</p> <p>4 : 6人</p> <p>3 : 2人</p> <p>2 :</p> <p>1 :</p>	<p>行政としての課題認識は適切であるが、ひきこもりの状況は一人一人異なっており、それぞれの状態に応じた支援ができるよう、事業委託先との意見交換やネットワーク協議会の機能強化（医師等を構成員に加える等）や拡充が重要だと考える。また、市民のひきこもりに対する理解を深めるためにも、財政確保に留まらず広報等行政としての支援も必要である。</p>

<ul style="list-style-type: none">・ 継続的な運営体制を維持するために必要なのは財源確保のみか・ 個々に応じた支援策を検討するための課題は適切に把握しているか		
---	--	--

※ 5点：そのとおりである。

4点：概ねそのとおりである。

3点：どちらとも言えない。

2点：どちらかと言うとそうではない。

1点：そうではない。